

## 令和元年度 第1回野洲市総合計画審議会 議事録要旨

### ●日 時

令和元年7月19日（金） 14:00～16:00

### ●場 所

野洲クリーンセンター 2階 会議室

### ●出席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：大野 裕己委員、新川 達郎委員、原田 小夜委員

2号委員：浅田 邦保委員、入江 幸一委員、衛藤 信之委員、奥邨 武和委員、黒木 稔委員、柴原 喬委員、田淵 勝美委員、中塚 勝委員、苗村 明夫委員、野口 明委員（代理出席：辻本氏）、羽田 慎二委員、林 かずみ委員、松沢 松治委員、水島 章夫委員、望月 幸三委員、山口 桂子委員、山中 清嗣委員、山本 一郎委員、山本 博一委員

4号委員：井上 輝子委員、松井 佑太委員

### ●欠席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：田中 勝也委員

2号委員：北村 真治委員、木村 靖委員

### ●事 務 局

竹中政策調整部長、吉田政策調整部次長、玉川企画調整課長補佐、垂企画調整課主査、松井企画調整課主事

### ●傍 聴 者

3名

## 1 開会

(1) 市長あいさつ

(2) 委員紹介

出席委員による自己紹介、及び吉田政策調整部次長より欠席委員の紹介を行った。

(3) 会長・副会長選出

委員より事務局案の提案を求める声があったため、事務局より会長に新川委員、副会長に原田委員を推薦することを提案し、委員の承認を得た。

(4) 第2次野洲市総合計画策定に係る諮問

山仲野洲市長から新川会長へ諮問を行った。

## 2 審議事項

第2次野洲市総合計画策定基本方針について

—事務局より資料説明—

#### ◇委員からの主な意見・質問

- 【委員】「誰にでも分かりやすい計画」とし、市民と共有するという説明であったが、どうやって市民と共有するのか。
- （事務局）冊子の他に薄い概要版を作成し各自治会に配布する、ホームページで周知する等、できるだけ市民の目に触れる機会を持てるようにと考えている。また、誰にでも分かるような表現を用いることが肝要であると考えている。
- 【委員】前回の審議会と比較して公募委員が少なくなっているが理由は何か。
- （事務局）公募委員は4名募集したが応募が少なく2名という結果となった。
- 【委員】4名であっても前回より少ないと思うが、前回の構成に問題があったと考えられてのことか。
- （事務局）前回の審議会では構成に入っていなかったが、今回は入れるべきと考えられる分野が増えており、公募人数を減らす形となった。部会を4部会想定していたため、各部会に1名ずつ入っていただきたく4名の公募とさせていただいた。前回の審議会の構成に問題があったという認識ではない。
- 【委員】前回は社会福祉協議会が審議会に入っていたが今回は入っていない。理由は何か。
- （事務局）委員構成については庁内のワーキンググループで事前に検討させていただいた。そこで、社会福祉協議会は民生委員児童委員協議会の事務局や障がい者団体の事務局等されておりいろいろな団体と関わりがあるものの、社会福祉協議会よりは各団体から市民の方に出ていただきたいという話になり、今回の構成とさせていただいた。
- 【委員】各分野の基本計画や実施計画等、膨大な計画があるが、それぞれの位置づけや関連性を図にして出してほしい。
- （事務局）各分野に関連する計画等については、今後整理しお示しする。
- 【委員】市民からの意見聴取の機会は、各部会に設けるのか、審議会全体で設けるのか。
- （事務局）市民からの意見聴取については、地域ごとにするのか、分野ごとにするのか等方法はまだ検討中であるが、各部会ではなく審議会全体の中でお示しする予定である。
- 【委員】審議会の構成が年配者が多いように思う。若い人の意見を反映できるようにした方がいいと思うがどうか。
- （事務局）今後、市民意見を聴取する機会、また、それぞれの現場でもいろいろな団体の意見等を聞く機会があり、若い人の意見も反映した計画を作成できるよう検討したい。
- 【委員】今後の審議会は専門部会となり、全体会は実施しないのか。それとも専門部会での話を全体会にかけるのか、今後の進め方を教えてもらいたい。
- （事務局）それぞれの専門部会で話し合った内容を全体会でかけることとなるため、専門部会と全体会とどちらも開催することとなる。日程は各部会で異なり、開催回数も異なる可能性がある。所属しない専門部会も傍聴していただいて構わない。

### 3 報告事項

- (1) 第2次野洲市総合計画にかかる基礎調査について  
—事務局より資料説明—

◇委員からの主な意見・質問

【委員】 P15 図 3-10 で 2010 年に農地が増えているが、大規模農家が他市の農地を買ったことが要因か。

→ (事務局) 出典が農林業センサスであり、野洲市に住んでいる方がどれだけ農地を持っているかという調査となるので、市外の農地の取得が入っている。P8 表 2-1 のように、地目別土地面積では田は減少している。

【委員】 P25 図 5-2 の市民活動団体の数が減っている理由は何か。

→ (事務局) 市民サービスセンターに登録されている市民団体の数であるため、活動は継続しているものの会員募集はしておらず登録を止めた団体等もあり得る。この数字だけで市民活動の状態を測れるものではないと思っている。

→ 【委員】 新しく活動を始めた団体で、登録システムを知らないところもある。この数字はあまり当てにならないと思ってもらっている。

→ 【委員】 どの分野が増えている、減っている等、細分化できればお願いしたい。

【委員】 2015 年や 2016 年の古いデータについて、もっと直近の数字が出ないのか。

→ (事務局) いずれも直近の数字ではあるが、例えば国勢調査は 5 年に 1 回等決まっているため、数年前の数字となる。財政状況は野洲市の数字は平成 29 年まで出しているが、全国平均と比較しようとする国が取りまとめて公表した数字を使わなくてはならず、数年前の数字となる。

【委員】 P20 表 4-1 将来負担比率が平成 28 年度から倍になっている理由は何か。

→ (事務局) 国道 8 号バイパスの整備工事に伴う、工場の移転用地の造成に拠るものである。来年度については、完全に数値が戻るわけではないが、一定下がる予測をしている。

【委員】 コミュニティセンターの利用について、不足しているのか充足しているのか等具体的なことが分かるような資料をお願いしたい。

(2) 市民意向調査について

—事務局より資料説明—

【委員】 調査結果について、年代別、性別だけではなく、性年代別での分析をお願いしたい。

【委員】 現時点では調査の集計の報告であり、分析はいつ頃の予定か。

→ (事務局) 庁内へもまだ返せておらず、庁内での検討が次の段階である。

【委員】 回答率が 35.9%というのは非常に低いと思うが、理由は何か。ネット等の活用は検討されなかったのか。

→ (事務局) 自由記述でも意見いただいたが、アンケート項目が多かったことや書きにくかったことが影響している可能性もある。インターネット回答は検討をしたが、世代が若い方に偏る可能性が懸念され、従来通りの郵送の方法で行った。

【委員】 地区ごとの特性を踏まえた計画づくりにしていけないと市民生活の実態に合わないことになる。データを整理する際は事務局で工夫をお願いする。

【委員】 アンケート結果の数字だけを見て方向づけしていくのは問題があると思う。少数の意見も取り

入れながら、かつ全体でも見て、組み合わせていかないといけない。

【委員】 現行計画の成果指標について、その進捗が今どうなっているのかを次回審議会までに出しても  
らいたい。

→（事務局）次回の審議会で提出する。

【委員】 参考資料の市民病院のことについては、特段調査で求めたものでないことについて、それを母  
数として評価することに対して疑問である。

【委員】 市民病院の資料はこの意向調査にはそぐわない。回収した方がいいのではないか。

→（会長判断により資料回収）

#### 4. 閉会

次回の審議会は10月3日（木）午後を開催させていただく予定である。